

島リハ便り2023 (9月号)

ご挨拶

島根リハビリテーション学院の学生の保護者の皆様、本学院の講義・実習・演習でお世話になっている関係機関の皆様、学生の社会活動・学習にご協力いただいている地域の皆様には日頃から本学院の教育活動に関しまして、多大なる理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて長年にわたり学院長を務められた谷河精規先生のご退職に伴い、2023年6月より紫藤治が学院長に就任いたしました。この紙面をお借りし、まずは私の略歴などを紹介させていただきます。私は岐阜県の飛騨高山に生を受けました。1982年に金沢大学医学部を卒業後直ちに生理学講座に所属し、生理学の教育に携わると共に主に体温調節と温度馴化についての研究を行いました。1999年10月より島根医科大学(現島根大学医学部医学科)の教授として環境生理学講座を主催いたしました。この間、先述のテーマに加え栄養機能食品や機能性表示食品などの生体機能への効果の研究にも関わっています。食品の研究につきましては複数の企業との共同研究に加え島根県の特産物も対象としました。奥出雲町にはいくつかの良質な天然水が湧出していますが、その中に油と混合しやすい変わった天然水があり、その研究の紹介のお手伝いもしました。島根大学在職中は医学科長、医学部長、医学図書館長などを歴任し大学の運営に様々な角度から関与して参りました。

島根リハビリテーション学院ではこれまで質の高い理学療法士、作業療法士の育成を目指し、実践して参りました。今後は私のこれまでの教育・機関運営の経験を活かし微力ながらもよりプロフェッショナルズムに裏打ちされた療法士の育成を目指したいと思います。また、本学院の研究活動を通じて奥出雲町総合計画の「奥出雲創生」のみならず島根県の産業振興にも貢献したいと望んでいます。さらに、本年度より本学院は「奥出雲町げんきプラン21」にも参画することとなり、本学院の特色を生かした介護予防の視点から同プランに貢献できればと願っています。

最後になりますが、保護者の皆様、関係者の皆様におかれましては引き続き本学院の教育活動にご理解を頂き、ご協力とご支援を頂けますよう心よりお願い申し上げます。

令和5年 9月

学校法人仁多学園 学院長 紫藤 治



学生自治会紹介



ますが、頑張ります!その際に生徒の皆さんに力をお借りする場面があるかと思いますがご支援のほどよろしくお願いします!

自治会長 理学療法学科 2年 福田丈真

令和5年度 学生自治会役員

会長	理学療法学科	2年	福田丈真
副会長	理学療法学科	2年	伊東歩輝
	作業療法学科	2年	園山玲央
書記	理学療法学科	2年	渡部乙乃
	作業療法学科	2年	上廻楓華
監視	理学療法学科	2年	杠瑞穂
	作業療法学科	2年	倉田紘靖
会計	理学療法学科	2年	桑本真弥
	作業療法学科	2年	飯塚紗耶
役員	理学療法学科	2年	藤原永希
	作業療法学科	2年	細田幹太

教育活動（近況報告）

◎理学療法学科

理学療法学科 1 年生

担任：山崎 健治

第26期理学療法学科の1年生の担任をしている山崎です。1年生33名は4月から新生活が始まりました。最初の頃は、慣れない一人暮らしや新しい友人・先輩との交流、アルバイト、車の免許取得など目まぐるしい環境の変化にみんな緊張した面持ちでした。あれからだんだんと月日が経つにつれ、友達の輪も広がり、冗談を言い合ったりはしゃいでいる姿、中庭で一緒にご飯を食べている姿、サークル活動に仲間と真剣に取り組んでいる姿など4月に比べて緊張が和らいできたのが伺えます。

学業の面では、解剖学、生理学、運動学といった医学の基礎、教育学や文化人類学などの一般教養を学び、将来へ向けた一步一步を着々と積み重ねております。皆、「大変だ」と言っていますが、友人や教員と協力して、自ら選択した道に対して責任をもって一生懸命に学業に励んでいます。



理学療法学科 2 年生

担任：橋村 康二

25期生も2年生の半分が終わろうとしています。今、ちょうど前期試験の真っ最中ですが、前向きに取り組んでいる学生や後ろ向きな雰囲気 of 学生など様々です。

勉強はそもそも辛いものです。それでも、付きたい職業があり、なりたい自分があるというポジティブな感情や思考があるからこそ入学してきたと思います。そこに向けたプロセスは、単位の取得、進級、卒業、国家試

験の取得などたくさんあり、それらを一つ一つ乗り越えていくことは、時には辛く、苦しいことでしょう。しかし、その一つ一つの小さな目標にポジティブな感情を持つと、そこに向けた取り組みに対する思いは変わってきます。未来に対してポジティブな感情や思考を持ち取り組むと、辛く苦しい中で喜びが生まれます。今、前向きに一生懸命取り組んでいる学生と後ろ向きな雰囲気の学生の違いはそんなところにあるのかもしれない。

これからも辛いこと、苦しいことはたくさんあります。それでも、その時間が幸せで充実した時間であるよう学業に励んでほしいと願っています。



理学療法学科 3 年生

担任：長谷川 奈保

24期生も学生生活の折り返し地点まで来ました。いよいよ本格的に臨床実習に向けての準備や国家試験の勉強が始まってきます。今までの定期試験の勉強方法とは違い、各自が自分のスケジュール管理を行いながら学習を進めていかなければなりません。学生はそれぞれに課題を抱え、躓くこともあります。友達と協力したり、励ましあいながら、乗り越えようと頑張っています。学生たちそれぞれが、自分の足で立ち、自分の望む未来に歩んでいけるよう、私たちも全力で支援を行っていきます。



理学療法学科 4 年生

担任:堀江 貴文

彼らにとって最後の臨床実習が終わろうとしています。慣れ親しんだ環境から離れホームシックになっている子、実習が楽し過ぎて学校に戻らずこのまま働きたいと言い出す子など感情は様々あるようですが、全員が対象者の方々を幸せにしたいという想いをもってひた向きに頑張ってくれています。8月に成長した皆の姿をみられることが楽しみでなりません。そして8月からは国家試験対策が始まります。“卒試・国試 全員合格”をスローガンに、23期PT学科、oneチームで立ち向かおうと思います。この半年間が彼らの正念場です。精神的にも身体的にも疲労が重なる時期です。帰省した際には温かな手料理と激励の言葉で元気付けてあげてください。私も担任として、彼らの努力が実を結ぶよう精一杯支援します。引き続きご支援をよろしくお願いいたします！



◎作業療法学科

作業療法学科 1 年生

担任:雲田 耕治

作業療法学科1年の担任をしています雲田です。1年生は高校までの生活とは打って変わり医学という専門的な勉強や一人暮らしが始まるという人生で初めての経験を多くする時期であると思います。入学して数か月とまだ間もない今はそれぞれに戸惑いもありますが、入学時に皆で決めた「クラスのありたい姿とそれを達成するためのルール」を基にクラスメートがお互いに助け合いながら勉強や生活に取り組んでいます。また、先日は上級生が企画した交流イベントも開かれ先輩達と楽しい時間を過ごせました。これからも私自

身精進するとともに、クラスの皆と一緒に成長できるような学生生活の支援をしてまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



作業療法学科 2 年生

担任:金弦 敬子

奥出雲町は「蕎麦」が有名です。蕎麦が盛んになった背景には「たたら製鉄」が影響しています。「たたら」を燃やすため山々の木を伐採し、跡地活用のため蕎麦栽培が栄えました。学生さんにとって、臨床実習では患者さんから「出身の学校はどんなところ？」と質問されることが多々あります。その際に、奥出雲町について返答できる引き出しが多い方がよいです。僭越ながら私事、5年前から蕎麦打ちが趣味となりました。きっかけは臨床時代に作業療法として蕎麦打ちをしたことです。患者さんは蕎麦打ちができるようになり表情も明るくなりました。作業療法を円満卒業した後も、「(病気になる前にこだわっていた蕎麦の出汁は)アゴ出汁がいいから、釣りにいく!」と活発になり、ご家族も喜んでおられました。今でも私は休日に蕎麦を打ち、食後には大好きな珈琲を味わうことが楽しみです。臨床実習で学生さんが一生懸命関わる姿は患者さんに元気を与えます。患者さんとの会話はリハビリの目標設定に必要不可欠です。患者さんに喜んでもらえるよう頑張してほしいです。



作業療法学科 3 年生

担任:津田 宏太郎

現在3年生は国家試験勉強が本格的に始まっています。クラスメイト同士で教え合ったり、問題を出し合ったりと協力して勉強しています。

また、後期からはいよいよ本格的な臨床実習が始まります。実習への準備として、臨床評価学や応用分析学などのより臨床に特化した授業も入ってきます。

4年生まで長丁場となりますが、私自身も学生と共に日々切磋琢磨しながら頑張っていきます。

大変なことばかりではなく、桜雪祭など学院全体で楽しめる行事もあります。クラスの団結力をより高めていけるイベントになると考えております。

引き続き学生たちへの熱い支援をよろしくお願い致します。



作業療法学科 4 年生

担任:青木 竜太郎

長い臨床実習を終え、みんなが学校に戻って来ました。実習では、失敗を恐れるあまり思うように行動できない事もありましたが、その中でも対象者の幸せのために今自分ができることを一生懸命考え、直向きに頑張る姿に4年間での成長を感じました。そして、実習での経験が作業療法士としての基盤をより強固にし、信念を作ることができたと思います。

半年後には作業療法士としてやっとスタートラインに立ちます。様々な人の人生に寄り添い幸せに寄与する仕事は、平坦な道のりばかりではありません。時には立ち止まり、時には戻ることもあるでしょう。そんな時は、仲間や教職員に頼り乗り越えられる力を身につけて欲しいと関わってきました。最後の半年間は、国家試験に向けお互いに支え合いながら合格という壁を越えられるように取り組んで行きます。



今年度の 臨床実習 実施状況

4年生は最後の臨床実習を終え、医療福祉現場で実際に患者さんを前に、学内だけでは学べない多くの経験を経て、医療人として一回り成長して戻って来ました。

後期には、臨床実習Ⅰ(2年生)、臨床実習Ⅱ・Ⅲ(3年生)を控えています。

学院のサポートに加え、引き続き、ご家族の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

地域別臨床実習先(4年生臨床実習Ⅲ-1・Ⅲ-2)

延べ人数

	島 根	広 島	鳥 取	山 口	岡 山	他	合 計
P T	39	15	5	—	4	7	70
O T	31	5	4	3	—	6	49
合 計	70	20	9	3	4	13	119

新入生研修会

キャリア教育の一環として例年開催している新入生研修会ですが、今年も4月21日(金)に開催しました。

今年は卒業生を8名お招きして、自身のキャリアについてお話をいただきました。講演の後には少人数のグループに分かれて、在学中の学生生活の過ごし方や勉強方法、卒業後の働き方など、卒業生のそれぞれの経験を元にアドバイスをいただきました。

学び始めたばかりの1年生ですが、将来、理学療法士・作業療法士として働くイメージを持ち、自分の目指す療法士像を思い描ききっかけとして貴重な時間となりました。

ご協力いただいた卒業生の皆さま、ご多忙のところ後輩たちのためにありがとうございました。



Special Thanks

【理学療法士】伊藤信先生(安来市立病院)17期生／山根麻衣先生(出雲徳洲会病院)17期生／曾田将紀先生(寛田クリニック)18期生／福間壘先生(大田市立病院)20期生／山崎空良先生(西部島根医療福祉センター)20期生

【作業療法士】神田仁利先生(株式会社あおいけあ)19期生／田中里沙先生(荒木脳神経外科病院)21期生／藪本亜樹先生(メリィホスピタル)21期生

新入生歓迎スポーツ大会

5月12日(金)今年も新入生歓迎会と称した球技大会が行われました。

今年は、バレー、フットサル、バスケットボール、野球、ドッジボール、

バドミントンの6競技が行われ、クラス対抗の熱い戦いが繰り広げられました。球技大会が近づくと、先生を誘って中庭で練習をする学生の姿があり、大会にかける思いが伝わってきました。当日は担任の先生が参戦したクラスもあり、入学して間もない1年生もクラスメイトと一致団結、先輩たちに負けじと全力でプレーしました!クラス間の団結力はもちろん、学科、学年を超えた交流が深まり、学生たちにとって良いリフレッシュにもなったようです。今年も感染対策を考慮し企画運営を行った学生自治会のみなさん、お疲れさまでした!



前期授業snap



チャイルドサポート

放課後児童クラブでの演習を通し、子どもとの関わり方や、学童保育における課題・地域連携について考察し、発表します。



障がい者スポーツ

日本パラスポーツ協会より指導員の方を招き用具の工夫やルールについて実践を通して学びます。本科目をすべて履修すると初級パラスポーツ指導員資格を取得できます。



地域インクルーシブ論

地域の課題発見、解決に向けた取り組みを考えるワークを実施。移動販売を行っている「ともに号」に同伴し、実際に地域の方と交流し課題解決に向けた思考力を磨きました。

EVENT WORKSHOP

実家を離れ、初めての一人暮らしを送る1年生を対象に、私生活面での不安軽減、トラブル予防のため、以下の講習会を行いました。

- ① 5月26日(金) 栄養指導(奥出雲町健康福祉課)
- ② 6月 9日(金) 消費者問題出前講座(島根県消費者センター)

〈その他学院主催で実施したセミナー〉

- ・5月13日(土) 地域デザイン講習会
(講師:studio-L代表 山崎亮氏/ 鶴の浦さくらホーム 羽田知世氏、旗手隆氏/ 株式会社おおいけあ代表 加藤忠相氏)
- ・6月18日(日) マインドフルネス実践セミナー
(講師:広島県立大学保健福祉学部准教授 織田靖史先生)



学生支援

①学生応援ランチチケットを配布

物価の高騰などで生活費が膨らむ中、学生の生活の一助となるように、昨年に引き続き学食で利用可能な『学生応援ランチチケット』の配付を行いました。日替わり定食と丼もの各5食ずつのチケットで、多くの学生が活用しています。

②移動販売車「ともに号」「ばんじゃ」

「NPO法人とともに」が運営する移動販売車【ともに号】による、弁当・食品の販売に加え、移動販売車専門店【走るパン屋さん ばんじゃ】によるパンの販売も始まりました。学院の正面玄関スペースで販売を行い、一般の方もご利用いただけます。

〈販売日〉ともに号:毎週(水) 12:00~12:30

ばんじゃ:毎週(月) 12:15~13:00



地域貢献 「地域マネジメント論」

作業療学科2年生が受講する「地域マネジメント論」では、奥出雲町社会福祉協議会主催の「フレイル予防塾」に参加させていただきました。作業療法士には病院や施設といった場所のみではなく、地域で生活する方々へ“楽しく生活を送り続ける”ための予防を行うことが役割として求められています。この授業では実際の予防塾の活動へ参加させていただき、参加者の皆様の“している作業”や“したい作業”、“今困っていること”についてお話を伺う機会を設けていただいております。聞き取った内容を学院へ持ち帰りクラス内で共有し、作業療法士として何を提供したら良いかを検討し、学生自身が考えたプログラムを参加者の皆さんと一緒に行いました。地域の方々の健康に寄与するとともに、作業療法士に求められる役割を実践を通して学ぶという貴重な経験の機会をいただきました。



令和5年度前期 学生によるボランティア・地域貢献活動

①三成地区児童との交流

スポーツトレーナーサークルの活動の一環で、三成地区児童クラブ「スマイル」の小学生を対象に、運動指導を行いました。遊びを取り入れた運動メニューを考案し、児童たちと一緒に運動を楽しみました。



②みざわまちあかり出店

作業大好きサークル所属の学生を中心に、「みざわまちあかり」に参加し、フリーマーケットの出店などを行い、地域の方々と一緒に三沢地区の祭りを盛り上げました。



令和5年度後期スケジュール



10月	桜雪祭 10月13日(金)14日(土)	臨床実習Ⅱ(3年生) 10月23日(月)~
11月	臨床実習Ⅱ(3年生) ~11月10日(金)	秋季防火訓練
12月	卒業試験(4年生) 12月上旬~下旬にかけて2回	冬季休業 12月25日(月)~1月4日(木)
1月	臨床実習Ⅲ(3年生) 1月29日(月)~	
2月	臨床実習Ⅲ(3年生) ~2月23日(金)	第59回国家試験 2月18日(日)見込み
3月	進級発表 3月1日(金) 後期授業終了 3月10日(日)	第23回卒業式 3月10日(日)
	春季休業 3月11日(月)~3月31日(日)	